

1.	②	11.	③	21.	③	31.	①	41.	③
2.	②	12.	①	22.	③	32.	①	42.	④
3.	④	13.	②	23.	④	33.	④	43.	③
4.	①	14.	④	24.	③	34.	④	44.	③
5.	①	15.	③	25.	②	35.	④	45.	①
6.	④	16.	④	26.	③	36.	③	46.	④
7.	③	17.	①	27.	②	37.	①	47.	④
8.	②	18.	③	28.	③	38.	④	48.	②
9.	②	19.	①	29.	②	39.	③	49.	①
10.	②	20.	③	30.	②	40.	④	50.	④

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の`fault`で、名詞として「(過失に対する) 責任」や、人や物の「欠点、短所」を意味します。何か悪いことが起きたときの原因や、その責められるべき点を指します。`The accident was the other driver's fault.`(その事故は相手の運転手の責任だった)。他の選択肢は、①`foul`がスポーツなどの「反則」、③`default`がコンピュータの「初期設定」や「債務不履行」、④`false`が形容詞で「誤った、偽の」という意味です。

◆補足：`It's my fault.`で「私のせいです」という、責任を認める決まった言い方になります。また、`find fault with ~`で「～のあら探しをする、～にけちをつける」という熟語として使われることもあります。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を選ぶ」です。`choose`は、複数の選択肢の中から、比較検討して「～を選ぶ、選択する」という意味の動詞です。`You can choose any topic you like for your essay.`(エッセイのテーマは好きなものをどれでも選んでよい)。①「～を閉じる」は`close`、③「～を追いかける」は`chase`、④「～をだます」は`cheat`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`choose`の活用は`choose - chose - chosen`と不規則に変化します。過去形の`chose` (チョウズ)、過去分詞の`chosen` (チョーズン) は、発音とスペリングの両方に注意が必要です。名詞形は`choice` (選択、選択肢) で、`make a choice` (選択をする) というコロケーションでよく使われます。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の`The point is (that)・・・`で、「要するに…ということだ、重要なのは…だ」と、話の要点や核心部分を強調して述べるときに使う表現です。長い議論や説明の後に、最も伝えたいことをまとめるのに便利です。`Of course, cost is important. But the point is that we must consider the environmental impact.`（もちろんコストは重要だ。しかし肝心なのは、我々は環境への影響を考慮しなければならないということだ）。他の選択肢は、①は「問題点」、②は「真実」、③は「事実」を強調する表現です。

◆補足：`point`には「点」の他に「要点、肝心な点」という意味があります。会話の中で`What's your point?`（要点は何ですか？）と尋ねたり、相手の意見に同意して`That's a good point.`（それは良い点ですね）と言ったりすることができます。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「追加の、余分の」です。`extra`は形容詞として、通常必要とされる量や数に加えて、さらに余分にあることを示します。`You will need to pay an extra charge for that service.`（そのサービスには追加料金を支払う必要があります）。②「外国の」は`foreign`、③「正確な」は`exact`、④「極端な」は`extreme`が適切な単語です。

◆補足：`extra`は副詞として「追加で、割り増しで」、名詞として「追加料金、エキストラ（臨時出演者）」という意味でも使われます。`I had to work extra hours this week.`（今週は残業しなければならなかった）。`extra-large`（特大の）のように、接頭辞として使われることもあります。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「適した、ふさわしい」です。`suitable`は、特定の目的、場面、人などに「適している、ふさわしい」ことを表す形容詞です。`This movie is not suitable for children.`（この映画は子供には適していない）のように、`suitable for ～`の形で使われることが多くあります。②「似ている」は`similar`、③「確信している」は`sure`や`confident`、④「満足している」は`satisfied`が適切な単語です。

◆補足：`suitable`は動詞`suit`（～に合う、適する）に、可能を表す接尾辞`-able`が付いてできた形容詞です。類義語に`appropriate`（適切な）や`proper`（適切な、ちゃんとした）がありますが、`suitable`は特に目的や条件への適合性を強調します。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④の`provide A with B`で、「A（人など）にB（必要な物）を供給する、与える」という意味の構文です。`A`には供給される対象（主に人）、`B`には供給される物が入ります。`The organization provides homeless people with food and shelter.`（その組織はホームレスの人々に食料と避難場所を提供している）。他の選択肢は、①`present A with B`が「AにBを贈呈する」で、より儀式的なニュアンスです。②`supply A to B`や③`offer A to B`は語順が逆で、それぞれ`supply B to A`、`offer B to A`の形が一般的です。

◆補足：`provide`を使ったもう一つの重要な形が`provide B for A`です。`This website provides useful information for travelers.`（このウェブサイトは旅行者のために役立つ情報を提供している）。`provide A with B`と`provide B for A`は書き換え可能ですが、`provide A with B`の形の方がより頻繁に使われる傾向があります。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`solve`で、「(問題、謎、困難などを) 解決する、解く」という意味の動詞です。複雑な状況や課題に対して、答えや方法を見つけ出すことを表します。`Police are still trying to solve the mystery of his disappearance.`（警察は依然として彼の失踪の謎を解こうとしている）。他の選択肢は、①`serve`が「～に仕える、食事を出す」、②`save`が「～を救う、節約する」、④`search`が「～を探す」という意味です。

◆補足：`solve`の名詞形は`solution`（解決策、解答）です。`There is no simple solution to this complex problem.`（この複雑な問題に簡単な解決策はない）。`problem-solving skills`（問題解決能力）という複合語も、ビジネスや教育の文脈でよく使われます。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②の`draw`で、主に二つの意味があります。一つは、鉛筆やペンなどを用いて線で「(絵や図)を描く」という意味です。`She drew a beautiful portrait of her mother.`（彼女は母親の美しい肖像画を描いた）。もう一つは、カーテンや引き出し、あるいは人の注意などを「～を引き出す、引く」という意味です。`He drew his sword.`（彼は剣を引き抜いた）。他の選択肢は、①`paint`が絵の具で

「(絵)を描く」、③`write`が文字や文章を「書く」、④`pull`が物理的な力で「～を引く」という意味です。

◆補足：`draw`の活用は`draw - drew - drawn`という不規則動詞です。過去形や過去分詞形もよく使われるので、必ず覚えておきましょう。コロケーションとしては`draw a conclusion`（結論を導き出す）や`draw attention`（注意を引く）などが重要です。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②の`jewelry`で、「(集合的に) 宝石、宝飾品」を意味します。指輪、ネックレス、イヤリング、ブレスレットなどの装身具全般を指す言葉です。文法的に重要なのは、`jewelry`が原則として数えられない名詞（不可算名詞）として扱われる点です。そのため、`a jewelry`や`jewelries`という形にはなりません。他の選択肢は、①`jewel`が数えられる名詞で「(個々の) 宝石」を指します。③`goods`は「商品、品物」、④`treasure`は「宝物」という意味です。

◆補足：`a piece of jewelry`のように`a piece of`を付けることで、「一個の宝飾品」と数えることができます。`She has a large collection of jewelry.`（彼女はたくさんの宝飾品のコレクションを持っている）。イギリス英語では`jewellery`と綴るのが一般的です。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の`for a while`で、「しばらくの間」と、それほど長くない、ある程度の期間を表す表現です。`Can I talk to you for a while?`（しばらくの間、お話できますか?）。他の選択肢を見てみましょう。①`after a while`は「しばらくして、やがて」と、ある程度の時間が経過した後の時点を指します。③`in a way`は「ある意味では」。④`for a long time`は「長い間」という意味で、`for a while`よりも長い期間を示します。

◆補足：`while`は「(～する) 間」という意味の接続詞としても重要ですが、この表現では「少しの時間」という意味の名詞として使われています。`it takes a while`で「しばらく時間がかかる」という言い方もできます。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「特に、とりわけ」です。`in particular`は、多くのものの中から特定の一つを強調して取り上げる際に使われる副詞句です。`I enjoyed my trip to Italy. In particular, the food was amazing.`（イ

タリア旅行は楽しかった。特に、食べ物が素晴らしかった)。①「一般的に」は`in general`、②「最終的に」は`in the end`、④「部分的に」は`in part`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`in particular`は`particularly`や`especially`とほぼ同じ意味で、書き換えが可能です。修飾したい語句の直後や文末に置かれることが多いですが、文頭に置くこともできます。`The teacher praised one student in particular.`(先生は特に一人の生徒をほめた)。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「技術者、エンジニア」です。`engineer`は、科学的・数学的な知識を応用して、機械、構造物、システムなどを設計、開発、製造、維持する専門家を指します。`He works as a mechanical engineer at a car company.`(彼は自動車会社で機械技術者として働いている)。②「芸術家」は`artist`、③「建築家」は`architect`、④「従業員」は`employee`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`engineer`は`engine`(エンジン)と関連のある単語です。動詞としては「～を設計する、巧みに計画する」という意味もあります。専門分野を前に付けて、`software engineer`(ソフトウェアエンジニア)や`civil engineer`(土木技師)のように、具体的な職種を表すことが多いです。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「世帯、家族」です。`household`は、一緒に住んでいる家族全体や、その家自体を指す名詞です。`The average household size in this country is decreasing.`(この国の平均世帯人数は減少している)。①「家事」は`housework`や`household chores`、③「家賃」は`rent`、④「家具」は`furniture`が適切な単語です。

◆補足：`household`は形容詞として「家庭の、家族の」という意味で使われることも非常に多いです。`household appliances`(家電製品、例：冷蔵庫、洗濯機など)や`household budget`(家計)のように、他の名詞と組み合わせて一つの意味を作ります。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④の`in charge of`で、「～を担当して、～の責任者で」という意味の熟語です。仕事、プロジェクト、部門などにおいて、特定の役割や管理責任を持っている状態を表します。`be in charge of`の形で使われることがほとんどです。`Ms. Sato is in charge of the marketing department.`(佐藤さんがマーケティング部の責任者です)。他の選択肢は、①`in case of`が「～の場合には」、②`in`

favor of 〜`が「〜に賛成して」、③`in front of 〜`が「〜の前に」という意味の、それぞれ重要な前置詞句です。

◆補足：`charge`には名詞として「責任、任務」という意味があり、そこからこの表現が成り立っています。`be in charge of`が状態を表すのに対し、`take charge of 〜`は「〜を担当する、その責任を引き受ける」という動作を表します。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の`specialize`で、「〜を専門にする、専攻する」という意味の動詞です。通常、`specialize in 〜`の形で、特定の分野を専門的に研究したり、扱ったりすることを表します。`This lawyer specializes in international law.`（この弁護士は国際法を専門としている）。他の選択肢は、①`socialize`が「(人と) 付き合う、交流する」、②`surprise`が「〜を驚かせる」、④`supply`が「〜を供給する」という意味です。

◆補足：名詞形は`specialty`または`speciality`（専門、得意なこと）、形容詞形は`specialized`（専門的な）です。`My specialty is French cuisine.`（私の専門はフランス料理です）。関連語の`special`（特別な）や`specialist`（専門家）とまとめて覚えると良いでしょう。イギリス英語では`specialise`と綴ります。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「静かな」です。`quiet`は形容詞で、音が少ない、または全くない状態や、動きが少なく穏やかな状態を表します。`I like to read in a quiet place.`（私は静かな場所で本を読むのが好きだ）。①「かなり」は`quite`、②「やめる」は動詞の`quit`で、どちらも`quiet`とつづりや発音が似ているため、混同しやすい単語です。③「静かに」は`quiet`の副詞形`quietly`です。

◆補足：`Be quiet!`（静かにしなさい!）は、注意を促す際の定番の命令文です。名詞形は`quietness`（静けさ）です。`I enjoy the quietness of the countryside.`（私は田舎の静けさを楽しんでいる）。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「安全、警備」です。`security`は、危険や脅威から守られている状態である「安全」や、その安全を確保するための活動である「警備、防犯」を意味する名詞です。`The airport has tightened its security measures.`（その空港は安全対策を強化した）。`a security guard`は「警備員」、`a`

security system`は「警備システム」を指します。②「秘密」は`secret`、③「静けさ」は`silence`や`quietness`、④「社会」は`society`が適切な単語です。

◆補足：`security`の形容詞形は`secure`で、「安全な、安心な、しっかりした」という意味です。動詞としても`secure`は「～を確保する、安全にする」という意味で使われます。`It is important to secure your personal information online.`（オンラインで個人情報を安全に保つことは重要だ）。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の`noisy`で、「騒々しい、うるさい、やかましい」という意味の形容詞です。人や場所から発せられる、不快なほど大きな音や声を表します。`The restaurant was too noisy, so we couldn't have a conversation.`（そのレストランはあまりにうるさくて、私たちは会話ができませんでした）。他の選択肢は、①`nosy`が「詮索好きな、おせっかいな」、②`nervous`が「緊張した、神経質な」、④`narrow`が「（幅が）狭い」という意味です。

◆補足：`noisy`は名詞の`noise`（騒音）に`-y`が付いてできた形容詞です。`noise pollution`（騒音公害）。対義語は`quiet`（静かな）です。`noisy`の比較級・最上級は`noisier`、`noisiest`と、`y`を`i`に変えて`-er`、`-est`を付ける形になります。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を避ける」です。動詞の`avoid`は、人、物、状況、行為などを意図的に「回避する、～しないようにする」という意味です。好ましくないことや危険なことに関わらないように努めるニュアンスがあります。`To stay healthy, you should avoid eating too much fast food.`（健康でいるためには、ファストフードの食べ過ぎは避けるべきだ）。②「～を招待する」は`invite`、③「～を達成する」は`achieve`、④「～を認める」は`admit`です。

◆補足：`avoid`の後ろには、名詞または動名詞(-ing 形)が続きます。`to`不定詞は続かないという文法的なルールに注意が必要です（× `avoid to eat`）。名詞形は`avoidance`（回避）です。コロケーションとしては、`avoid an accident`（事故を避ける）や`avoid eye contact`（目を合わせるのを避ける）などがあります。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③の`take off (～)`で、主に二つの重要な意味があります。一つは、服や靴、帽子などを「～を脱ぐ」という意味です。`He took off his wet coat.` (彼はぬれたコートを脱いだ)。もう一つは、飛行機が地面を離れて空に飛び立つ「離陸する」という意味です。`The flight to New York will take off in 30 minutes.` (ニューヨーク行きの便は 30 分後に離陸します)。他の選択肢は、①`take on`が「(仕事などを) 引き受ける」、②`take over`が「～を引き継ぐ」、④`take up`が「(趣味などを) 始める」という、それぞれ`take`を使った重要な句動詞です。

◆補足：「脱ぐ」という意味の`take off`の対義語は`put on` (身につける)、「離陸する」の対義語は`land` (着陸する) です。また、ビジネスなどが「急に人気が出る、成功する」という意味でも使われます。`His new business took off immediately.` (彼の新しい事業はすぐに軌道に乗った)。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「隣人、近所の人」です。`neighbor`は、自分の家の隣や、ごく近くに住んでいる人を指す名詞です。`My next-door neighbor is a very kind old lady.` (私の隣の家の人はとても親切な老婦人だ)。①「親戚」は`relative`、②「見知らぬ人」は`stranger`、④「仲間」は`companion`や`partner`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：「近所、近隣」という地域全体を指す場合は`neighborhood`という単語を使います。`This is a quiet and safe neighborhood.` (ここは静かで安全な近所です)。イギリス英語では`neighbour`と綴るのが一般的です。`Love your neighbor as yourself.` (汝の隣人を汝自身のように愛せよ) は聖書からの有名な言葉です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③の`neighborhood`で、「近所、近隣 (地域)」を意味する名詞です。自分が住んでいる家やそのすぐ周りのエリアを指します。`It's a safe and friendly neighborhood.` (そこは安全で親しみやすい近所です)。他の選択肢は、①`nature`が「自然」、②`nation`が「国家」、④`hometown`が「故郷、生まれ故郷」という意味です。

◆補足：`neighbor`は「隣人、近所の人」を意味します。`-hood`は「状態、性質、集団」を表す接尾辞で、`childhood` (子供時代) や`brotherhood` (兄弟の間柄) などにも使われます。「近所の人々がいる範囲」が`neighborhood`と考えると分かりやすいですね。イギリス英語では`neighbourhood`と綴ります。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を翻訳する」です。`translate`は、ある言語を別の言語に「訳す」ことを意味する動詞です。`The book has been translated into more than twenty languages.`（その本は20以上の言語に翻訳されている）。①「～を輸送する」は`transport`、②「～を転勤させる、移す」は`transfer`、③「～を変形させる」は`transform`です。これらはすべて「向こう側へ」というニュアンスを持つ接頭辞`trans-`が付く動詞で、混同しやすいので注意しましょう。

◆補足：`translate A into B`で「AをBに翻訳する」という構文は必須です。名詞形は`translation`（翻訳）、翻訳する人は`translator`です。`Google Translate`は世界中で使われている翻訳サービスの一つですね。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③の`schedule`で、「予定、日程、時間割」を意味する名詞です。いつ何を行うかという計画をリストにしたもので、日本語の「スケジュール」とほぼ同じ意味で使えます。`Let's check the schedule for tomorrow's meeting.`（明日の会議の予定を確認しましょう）。他の選択肢は、①`scale`が「規模、目盛り」、②`scheme`が「計画、体系」（しばしば悪い意味で「陰謀」）、④`school`が「学校」という意味です。

◆補足：`schedule`は動詞として「～を予定に入れる」という意味でも使われます。`The flight is scheduled to arrive at 10 a.m.`（その便は午前10時に到着する予定です）。コロケーションとしては、`on schedule`（予定通りに）、`behind schedule`（予定より遅れて）、`ahead of schedule`（予定より早く）が非常に重要です。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②の`after all`で、「結局のところ、やはり、なんと言っても」という意味です。前の状況や予想に反する結果になったときや、いろいろ考えた上での結論を述べる時に使います。`I was worried that he might not come, but he came after all.`（彼が来ないかもしれないと心配していたが、結局は来た）。他の選択肢は、①`above all`が「とりわけ、何よりも」、③`at all`が否定文で「全く～ない」、④`first of all`が「まず第一に」という、それぞれ`all`を使った重要な熟語です。

◆補足：`after all`は文末に置かれることが多いですが、文頭に置くこともできます。「だって～だから」と、理由を後から付け加えるようなニュアンスで使われることもあります。`You shouldn't be so hard on him. After all, he's only a child.`（彼にそんなに厳しくすべきじゃないよ。なんと言っても、彼はまだ子供なんだから）。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③の`all year round`で、「一年中ずっと」という意味です。季節に関係なく、一年を通して何かを利用可能であったり、ある状態が続いたりすることを表します。`The island has a warm climate all year round.`（その島は一年中温暖な気候だ）。他の選択肢は、①`all day long`が「一日中ずっと」、②`around the world`が「世界中に」、④`one after another`が「次々と、相次いで」という意味です。
◆補足：`round`には前置詞として「～の間中ずっと」という意味があり、この表現ではその用法が使われています。`year`の部分进行他の期間を表す単語に変えることも可能です。`The shop is open all week round.`（その店は週の間ずっと開いている）。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②「少し、ちょっと」です。`a bit`は、主に口語で使われる副詞句で、`a little`とほぼ同じ意味です。形容詞や副詞の前に置いてその程度を和らげたり（`a bit difficult` 少し難しい）、動詞を修飾したりします。`I'm feeling a bit under the weather today.`（今日は少し気分が悪い）。①「ひと口」は`a bite`、③「一部」は`a bit of`～`の形で使います。④「一対」は`a pair`です。
◆補足：`a bit of` + 数えられない名詞`の形で「少量の～」という意味になります。`Could I have a bit of milk in my coffee?`（コーヒーにミルクを少しいただけますか）。`not a bit`で「少しも～ない」という強い否定を表します。`He was not a bit tired.`（彼は少しも疲れていなかった）。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③の`grass`で、「草、牧草、芝生」を意味します。公園や庭園、野原などに生えている草全般を指す最も一般的な単語です。`The sheep are eating grass in the meadow.`（羊たちが牧草地で草を食べている）。他の選択肢は、①`glass`が「ガラス」や「コップ」で発音が似ているので注意が必要です。②`ground`は「地面」、④`leaf`は「(木の) 葉」を意味します。
◆補足：`grass`は数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。そのため、たくさん生えていても`a grass`や`grasses`とは通常言いません。`a blade of grass`で「一本の草の葉」と数えることができます。芝生を意味するもう一つの単語に`lawn`があり、こちらは特に手入れされた庭の芝生を指すことが多いです。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②の`communicate`で、「(考え・情報などを) 伝え合う、意思疎通する」という意味の動詞です。言葉や文字、ジェスチャーなど、様々な手段を用いて互いに情報を交換し、理解し合うことを表します。`Good communication is key to a successful team.` (良いコミュニケーションがチームを成功に導く鍵だ)。他の選択肢は、①`commute`が「通勤・通学する」、③`complete`が「～を完成させる」、④`compute`が「～を計算する」という意味です。

◆補足：名詞形は`communication` (コミュニケーション、意思疎通) です。`communicate with ～`で「～と意思疎通する」という形でよく使われます。`We can now communicate instantly with people on the other side of the world.` (私たちは今や、地球の裏側にいる人々と瞬時にコミュニケーションがとれる)。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②の`lay`で、目的語を必要とする他動詞です。主な意味は「～を横たえる、置く」と「(鳥などが卵) を産む」です。`She carefully laid the sleeping baby in the crib.` (彼女は眠っている赤ちゃんをそっとベビーベッドに寝かせた)。`This hen lays an egg every day.` (このめんどりは毎日卵を産む)。他の選択肢は、①`lie`が「横になる」という自動詞、または「うそをつく」という動詞、③`die`が「死ぬ」、④`ray`が「光線」という意味です。

◆補足：自動詞`lie` (横になる) と他動詞`lay` (横たえる) の使い分けは、英語学習者が非常によく間違える最重要ポイントの一つです。さらに、活用が`lay - laid - laid`、`lie - lay - lain` (横になる)、`lie - lied - lied` (うそをつく) と非常に紛らわしいので、何度も声に出して覚える必要があります。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「交通、交通量」です。`traffic`は、道路上の車、バス、トラックなどの乗り物の往来や、その量を指す名詞です。`I was late because of a heavy traffic jam.` (ひどい交通渋滞のせいで遅刻した)。②「旅行」は`travel`や`trip`、③「輸送」は`transportation`、④「通路」は`passage`や`aisle`が適切な単語です。これらはすべて交通に関連しますが、`traffic`が指す「交通量」そのものとは異なります。

◆補足：`traffic`は数えられない名詞として扱われるのが基本です。そのため、「交通量が多い」は`many traffic`ではなく、`heavy traffic`や`a lot of traffic`のように表現します。`traffic light` (交通信号) や`traffic accident` (交通事故) など、`traffic`を使った複合語も日常生活で頻繁に使われます。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を信頼する、信用する」です。動詞の`trust`は、人やその言葉、能力などを、疑いなく信じることを表します。`You can trust me. I won't tell anyone your secret.`（私を信用して大丈夫。あなたの秘密は誰にも言いません）。②「～を試す」は`test`や`try`、③「～を治療する」は`treat`、④「～を脅かす」は`threaten`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`trust`は「信頼、信用」という名詞としても使われます。`Trust is essential for a good friendship.`（信頼は良い友情に不可欠だ）。類義語の`believe`は「(正しいと) 信じる」という意味が中心ですが、`believe in`となると「(人やその価値を) 信頼する」という意味で`trust`に近くなります。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の`stand by`で、「(困難な時に) ～を支持する、～の味方でいる、～を見捨てない」という意味の句動詞です。人が苦しい状況にあるときに、その人のそば(`by`)に立ち(`stand`)、助けたり精神的な支えになったりすることを表します。`No matter what happens, I will always stand by you.`（何が起ころうとも、私はいつも君の味方だよ）。他の選択肢は、①`stand for`が「～を表す、象徴する」、②`stand out`が「目立つ」、③`stand up to`が「～に立ち向かう」という意味です。

◆補足：`stand by`には、他に「待機する」や「(約束などを) 守る」という意味もあります。`The rescue team is standing by for instructions.`（救助隊は指示を待って待機している）。文脈に応じて意味を判断することが大切です。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`modern`で、「現代の、近代的な、最新の」という意味の形容詞です。昔ながらのスタイルや考え方とは対照的に、新しい時代の特徴を持つことを示します。`The museum is a perfect example of modern architecture.`（その美術館は現代建築の完璧な一例だ）。他の選択肢は、①`model`が「模型、手本、モデル」、②`modest`が「謙虚な、控えめな」、③`medium`が「中間の、媒体」という意味です。

◆補足：`modern`の対義語は`ancient`（古代の）や`traditional`（伝統的な）です。コロケーションとしては`modern art`（現代美術）、`modern technology`（現代の科学技術）、`modern society`（現代社会）などがあります。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の`regret`で、「～を後悔する、残念に思う」という意味の動詞です。過去の自分の行動や決定について、残念に思ったり、やり直したいと思ったりする気持ちを表します。`I deeply regret my careless mistake.`（私は自分の不注意なミスを深く後悔している）。他の選択肢は、①`regard`が「～とみなす」、②`reject`が「～を拒絶する」、③`repeat`が「～を繰り返す」という意味です。

◆補足：`regret`の後ろには、動名詞（-ing 形）を続けて「～したことを後悔する」、`to`不定詞を続けて「残念ながら～する」という、二つの重要な構文があります。`I regret telling him the secret.`（彼に秘密を話したことを後悔している）。`We regret to announce the cancellation of the event.`（残念ながらイベントの中止をお知らせします）。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③の`be dependent on`～で、「～に依存している、～に頼っている、～次第である」という意味です。経済的・精神的に他からの援助を必要としている状態や、物事の結果が何かに左右されることを表します。`Children are dependent on their parents for food and clothing.`（子供は衣食を親に依存している）。`The success of the project is dependent on teamwork.`（プロジェクトの成功はチームワーク次第だ）。他の選択肢は、①`be independent of`～が「～から独立している」で反対の意味、②`be different from`～が「～と異なっている」、④`be based on`～が「～に基づいている」という意味です。

◆補足：`dependent`は動詞`depend`（頼る）の形容詞形です。`It depends.`（それは状況次第だ）という返事は、会話で非常によく使われます。名詞形は`dependence`（依存）です。`drug dependence`（薬物依存）。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「穏やかな、落ち着いた」です。形容詞の`calm`は、人やその態度、あるいは天候や海などが、荒れておらず静かで平穏な状態であることを表します。`The sea was calm after the storm.`（嵐の

後、海は穏やかだった)。「She has a very calm personality.」(彼女はとても落ち着いた性格をしている)。
②「興奮した」は`excited`、③「緊張した」は`nervous`、④「明るい」は`cheerful`や`bright`
が適切な単語です。

◆補足：`calm`は動詞として「～を落ち着かせる、静める」、名詞として「穏やかさ、平静」という意味でも使われます。興奮している人に対して`Calm down!`（落ち着いて！）と言うのは、非常によく使われる命令文です。`l`は発音しない黙字（サイレントレター）で、発音は「カーム」となる点にも注意しましょう。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「結婚する」です。`get married`は、「結婚する」という動作や変化を表す最も一般的な口語表現です。`married`は「結婚している」という状態を表す形容詞で、`get`と結びつくことで「結婚している状態になる」という意味になります。`My cousin is getting married in June.`（私のいとこは6月に結婚します）。①「婚約する」は`get engaged`、②「離婚する」は`get divorced`、③「デートする」は`go on a date`などが適切な表現です。

◆補足：`marry`という動詞も「～と結婚する」という意味ですが、`get married`の方が会話では頻繁に使われます。`get married to`で「～と結婚する」という形になります。`She got married to her high school classmate.`（彼女は高校の同級生と結婚した）。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③「品目、項目」です。`item`は、リストや集まり、コレクションの中の一つひとつの「品目、項目、品物」を意味する名詞です。買い物リストの品物、議題の項目、ニュースの項目など、様々な個別の要素を指すことができます。`Please check all the items on the list.`（リストの全項目を確認してください）。①「考え」は`idea`、②「全体」は`whole`、④「理想」は`ideal`が適切な単語です。

◆補足：`item`は数えられる名詞なので、複数形は`items`となります。`several items of clothing`（数点の衣類）のように、具体的な品物を指して使われることも多いです。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の`introduction`で、「紹介」や「導入」を意味する名詞です。人や物事を初めて他の人に知らせる「紹介」や、本やスピーチの冒頭の「導入部分」、新しい制度などの「導入」といった幅広い意味

で使われます。`The book begins with a brief introduction to the author's life.`（その本は著者の人生の簡単な紹介から始まっている）。他の選択肢は、①`interaction`が「交流、相互作用」、②`invention`が「発明」、③`instruction`が「指示、取扱説明書」という意味です。

◆補足：`introduction`の動詞形は`introduce`（～を紹介する、～を導入する）です。`introduce A to B`の形で「A を B に紹介する」という構文は必須です。`He introduced his girlfriend to his parents.`（彼はガールフレンドを両親に紹介した）。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③の`co-worker`で、「同僚、仕事仲間」を意味します。接頭辞`co-`は「共同の、共に」という意味を持ち、`worker`（働く人）と組み合わさってできています。`I sometimes have dinner with my co-workers after work.`（私は仕事の後、時々同僚と夕食をとる）。他の選択肢は、①`customer`が店などの「客」、②`client`が弁護士などの専門家に仕事を依頼する「依頼人」、④`competitor`が「競争相手」という意味です。

◆補足：`co-worker`とほぼ同じ意味で`colleague`という単語もよく使われます。`colleague`の方が、よりフォーマルで、専門職の同僚を指す場合に好まれる傾向があります。接頭辞`co-`が付く単語には、他に`cooperate`（協力する）や`co-pilot`（副操縦士）などがあります。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④の`block`です。名詞として「(木・石・氷などの大きな四角い) かたまり」や「(街路に囲まれた) 一区画」を意味します。また、動詞としては「(道・視界など) をふさぐ、妨げる」という意味で使われます。`He used wooden blocks to build a tower.`（彼は積み木を使って塔を作った）。`A traffic accident is blocking two lanes of the highway.`（交通事故が高速道路の2車線をふさいでいる）。他の選択肢は、①`brick`が「れんが」、②`rock`が「岩」、③`lock`が「錠」や「～に鍵をかける」という意味です。

◆補足：日本語でも「ブロック」という言葉は馴染み深いですね。コロケーションとしては`a block of cheese`（チーズのかたまり）や`walk around the block`（ブロックを一周する）などがあります。`block`の動詞形から派生した名詞に`blockage`（封鎖、障害物）があります。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③の`create`で、「～を創造する、創作する」という意味の動詞です。それまで存在しなかった新しいものやアイデアを、独自の工夫や想像力をもって生み出すことを表します。芸術作品の創作や、新しいビジネスの創出など、幅広い場面で使われます。`The government plans to create more job opportunities for young people.`（政府は若者のためにより多くの雇用機会を創出する計画だ）。他の選択肢は、①`correct`が「～を訂正する」、②`collect`が「～を集める」、④`connect`が「～をつなぐ」という意味です。

◆補足：`create`は`make`（作る）よりも、より独創性や芸術性の高いものを生み出すというニュアンスが強い単語です。名詞形には`creation`（創造、創造物）、`creativity`（創造性）、`creator`（創造者）があります。形容詞形は`creative`（創造的な）です。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を借りる、賃貸する」です。動詞の`rent`は、お金を支払って、家、アパート、車などを一定期間「借りる」ことを意味します。また、所有者がお金を取って「貸す」という意味でも使われます。`We rented a small apartment for our vacation.`（私たちは休暇のために小さなアパートを借りた）。①「～を（無料で）貸す」は`lend`、②「～を返す」は`return`、④「～を修理する」は`repair`です。有料の`rent`と無料の`lend`の区別は重要です。

◆補足：`rent`は名詞として「家賃、賃貸料」という意味でも頻繁に使われます。`The monthly rent for this apartment is 100,000 yen.`（このアパートの月々の家賃は10万円です）。`for rent`で「賃貸用」という表示になります。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「動く、引っ越す、感動させる」です。動詞の`move`は非常に多くの意味を持つ基本的な単語です。準2級レベルでは、物が「動く、～を動かす」、住居を「引っ越す」、そして人の心を「感動させる」という三つの意味をしっかりと押さえておくことが重要です。`Could you help me move this desk?`（この机を動かすのを手伝ってくれませんか？）。`They are moving to a bigger house.`（彼らはより大きな家に引っ越すところだ）。`The audience was moved to tears.`（聴衆は感動して涙した）。②～④はそれぞれ`invite`、`invent`、`visit`です。

◆補足：名詞の`move`は「動き、引っ越し、手段」といった意味です。`make a move`（行動を起こす）という表現もあります。形容詞の`moving`は「感動的な」という意味で、`a moving film`（感動的な映画）のように使われます。

46.

解答 ④**【解説】**

正解は④の`perfect`で、「完璧な、申し分のない、完全な」という意味の形容詞です。欠点や誤りが全くなく、理想的な状態を表します。`The weather was perfect for a picnic.`（ピクニックには完璧な天気だった）。他の選択肢は、①`pure`が「純粋な、混じりけのない」、②`proper`が「適切な、ちゃんとした」、③`patient`が「忍耐強い」という意味です。

◆補足：動詞形は`perfect`（パーフェクト）とアクセントの位置が後ろに移動し、「～を完璧にする、完成させる」という意味になります。副詞形は`perfectly`（完璧に）、名詞形は`perfection`（完璧）です。ことわざの`Practice makes perfect.`（練習が完璧を生む→習うより慣れよ）は覚えておくとい良いでしょう。

47.

解答 ④**【解説】**

正解は④「たとえ…だとしても」です。`even if…`は接続詞句で、起こる可能性が低い、あるいは事実とは異なる仮定の条件を導入し、その条件にもかかわらず主節の事柄が成り立つことを示します。`I will go to the party, even if I have to go alone.`（たとえ一人で行かなければならないとしても、私はそのパーティーに行きます）。①「まるで…のように」は`as if…`、②「…するとすぐに」は`as soon as…`、③「…である限りは」は`as long as…`です。

◆補足：`even if`と`even though`（…だけれども）は似ていますが、大きな違いがあります。`even though`が実際に起こった事実（`Even though it was raining, he went out.`）を述べるのに対し、`even if`はまだ起こっていない仮定の話（`Even if it rains, I will go out.`）をするのが基本です。

48.

解答 ②**【解説】**

正解は②「手術、操作」です。`operation`は複数の重要な意味を持つ名詞です。一つは、病気やけがを治療するための「手術」です。`The operation was successful.`（手術は成功した）。もう一つは、機械などの「操作、運転」や、会社や計画の「運営、実施」です。`The machine is now in operation.`（その機械は現在作動中です）。①「意見」は`opinion`、③「機会」は`opportunity`、④「組織」は`organization`です。

◆補足：`operation`の動詞形は`operate`です。`The surgeon will operate on the patient tomorrow.`（その外科医は明日、患者の手術を行う）。コロケーションとしては、`a surgical operation`（外科手術）や`military operation`（軍事作戦）などがあります。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「乗客」です。`passenger`は、バス、電車、飛行機、船などの公共交通機関に乗っている人のことで、運転手や乗組員（`crew`）は含まれません。`All passengers must fasten their seatbelts before takeoff.`（全ての乗客は離陸前にシートベルトを締めなければならない）。②「歩行者」は`pedestrian`、③「運転手」は`driver`、④「通行人」は`passerby`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`passenger`は動詞`pass`（通り過ぎる）に由来し、「乗り物に乗って場所を通り過ぎていく人」と考えると覚えやすいかもしれません。コロケーションとしては、`a passenger train`（旅客列車）や`a passenger seat`（（車の）助手席）などがあります。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「上司、ボス」です。`boss`は、職場などで自分よりも地位が上で、自分に指示を出す立場にある人を指す、やや口語的な言葉です。`My boss is very strict but fair.`（私のボスはとても厳しいが公平だ）。①「部下」は`subordinate`や`staff`、②「顧客」は`customer`や`client`、③「社長」は`president`がそれぞれ適切な単語です。社長も上司の一種ですが、より直接的な監督者を指して`boss`が使われることが多いです。

◆補足：`boss`は動詞として「～に威張りちらす、指図する」という意味でも使われます。`Stop bossing me around!`（私に威張って指図するのはやめて！）。形容詞形は`bossy`（威張り散らす）で、人の性格を表すのに使われます。
